

# 韓国で新たに口蹄疫発生

侵入防止と疑い事例の早期通報の徹底を！

## 韓国政府の見解とこれまでの経緯

- ▼見 解:①ワクチン接種農家においても、口蹄疫が発生する可能性がある。  
②今後も、これまでの発生地域を中心に間欠的に発生する可能性がある。
- ▼経 緯:①2010年11月末～2011年3月までに、すべての地域(ソウル特別市、全羅北道・南道及び済州島を除く)の3,447農場で感染確認  
②2010年12月～2011年1月、すべての牛、豚に口蹄疫ワクチン接種を決定  
③4月3日 一連の発生終息、すべての移動制限解除と報告  
④4月17日、慶尚北道のワクチン接種済の養豚農家で口蹄疫(O型)の発生確認(周囲500mの地域の観察強化等 防疫対応実施)

## 農場へウイルスを侵入させないポイント

- ▼ 自分の農場に入る際も、靴、持ち込むものの消毒の徹底
  - ▼ 外部からの人や車を農場に入れない
  - ▼ 農場に立ち寄る車(タイヤや運転席)や持ち込む物は必ず消毒
  - ▼ 踏込消毒槽、専用の作業着及び長靴を設置
  - ▼ 発生国に滞在し、ウイルスを伝播する可能性のある人や発生国から輸入された物を農場に近づけない。渡航は控える。
  - ▼ 家畜の導入は、状況を見据えて、より慎重に(導入した場合は、隔離観察を徹底) 等
- 毎日、必ず家畜を観察して、おかしい時には、すぐに獣医師や家畜保健衛生所に連絡してください。



日本は2月5日に「口蹄疫清浄国」に復帰しました。

飛騨家畜保健衛生所

TEL(0577)33-1111 FAX32-9019

E-mail:c24508@pref.gifu.lg.jp